## 2015 DIJON Racing SUPER GT RACE REPORT

### MOTEGI GT 250KM RACE

開催日時　：2015 年 11 月 14 日～11 月 15 日
開催地　　：ツインリンクもてぎ（栃木県）
ドライバー：Takamori 博士／田中勝輝
マシン名　：DIJON Racing GT-R（日産 GT-R GT3）
参戦クラス：2015 年 SUPER GT SERIES ／ GT300 クラス

天候　　：予選／雨
　　決勝／曇り～晴れ
路面　　：予選／ウェット
　　決勝／ウェット～ドライ
入場者数：予選／ 17,000 人
　　決勝／ 33,000 人

公式練習　：クラス 21 位（1 分 59 秒 443）
予選 Q1　：クラス 23 位（2 分 01 秒 154）
予選 Q2　：----
フリー走行：クラス 18 位（2 分 00 秒 865）
決勝　　：クラス 25 位（37 周）

DIJON Racing
iNOKi
MATSUNAGA GROUP
k Dental office
ENDLESS
Cure Album Planet
IBRIDA CELL
NILZZ Racing Factory
POWER STATION
アーツ銀座クリニック
KTEL
PINS FACTORY
NISSAN nismo NISSAN GT-R NISMO GT3 Customer Racing
CKK
TAKATA
ヒョウゴベンダ
YOKOHAMA
RAYS

2015 年 SUPER GT シリーズ最終戦『MOTEGI GT 250KM RACE』が栃木県にあるツインリンクもてぎで行われた。
ツインリンクもてぎはストップアンドゴーの多いコース特性から、抜きどころが非常に少なく、250km というシリーズ最短のレース距離も相まって、毎年レーススタート直後から激しい戦いが繰り広げられている。
DIJON Racing はホームコースでのレースとなり、DIJON Racing GT-R48 号車は Takamori 博士と田中勝輝のコンビで今期最後のレースに挑んだ。

■11 月 14 日（土） 予選 Q1
朝から雨が降り続き、雨量は午前中よりも増えてコースは完全にウエットコンディションとなる。
予選 Q1 セッションは 14 時 00 分より 20 分間にわたって行われた。
今回、予選 Q1 を担当するのは田中勝輝。
全車がセッション開始と同時に一斉にコースイン。
気温および路温が低いために、コースイン直後から各車は入念にウォームアップ走行を行う。
タイヤウォーマーが禁止されているため、タイヤが適正な温度になるまで、ある程度周回をこなす必要があり、各車必死にタイヤを暖めるために周回を続ける。
予選アタックを開始した田中選手は計測 5 周目に 2 分 02 秒 591 をマーク。
その翌周には 2 分 01 秒 154 までタイムを短縮するも、これ以降タイムアップを果たすことが出来ず、予選 23 位となり、Q2 進出を果たすことができなかった。

DIJON Racing
inoki
MATSUNAGA GROUP
k Dental office
ENDLESS
Cure Album Planet
IBRIDA CELL
NILZZ Racing Factory
POWER STATION
アーツ銀座クリニック
KTEL
PINS FACTORY
NISSAN nismo NISSAN GT-R NISMO GT3 Customer Racing
CKK
TAKATA
ヒョウゴベンダ
YOKOHAMA
RAYS

■11 月 15 日（日） 決勝
一夜明けて迎えた日曜日。
昨日から降り続いた雨も午前中には上がり、路面も所々乾いた箇所が現れ始めた。
天候は回復方向でグリッドへの試走時には全車スリックタイヤを装着してコースイン。
しかし、天候は気難しく、グリッドウォーク終了間近に突然の小雨が降り始め、路面は再びウェットコンディションへ。
降雨は収まりつつ、ほとんど止んでいるが、路面はウェット状態という非常に難しい状況となり、全車グリッド上でウェットタイヤへ交換してスタート進行が行われた。

13 時 48 分、33,000 人の大観衆が見守る中、スーパー GT シリーズ最後の決勝レースがスタートした。
23 番手スタートの Takamori 博士はオープニングラップの混乱を上手くかわし、19 位にジャンプアップ。
そして、その翌周には 18 位に浮上し、激しい追い上げが期待されたが、7 周目に入った頃から路面が急激に渇き、リアタイヤの磨耗が激しくなった。

2 人のドライバーでレースを戦う SUPER GT ではレース周回数 1/3 でドライバー交代が可能となるため、思うようにペースを上げられない Takamori 博士はペースを落とし、我慢の走りを強いられてしまう。
タイヤが限界と判断して、14 周を終えて、ライバル勢と比べて非常に早い段階でピットインを行った Takamori 博士。
ドライタイヤに交換し、田中勝輝に残りのスティントを託すが、このピットストップの際にピット作業違反を取られてしまい、DIJON Racing GT-R48 号車はドライブスルーペナルティを受けることになってしまった。

DIJON Racing
inoki
MATSUNAGA GROUP
k Dental office
ENDLESS
Cure Album Planet
IBRIDA CELL
NILZZ Racing Factory
POWER STATION
アーツ銀座クリニック
KTEL
PINS FACTORY
NISSAN nismo NISSAN GT-R NISMO GT3 Customer Racing
CKK
TAKATA
ヒョウゴベンダ
YOKOHAMA
RAYS

レース中盤の 24 周目、アクシデントによる落下物回収のためにセーフティーカー (SC) が導入される。
しかし、この SC は、DIJON Racing GT-R48 号車には有利に働く事はなく、逆に上位進出は非常に厳しい状況となってしまった。
コース上の回収作業が終了し、7 周に渡って行われた SC が解除となってレースは再開。
DIJON Racing GT-R48 号車の前を行くのは、DIJON Racing GT-R47 号車。
チームメイト同士でのバトルを展開する。
34 周目にチームバトルを制した田中勝輝はさらに上位を目指しスパートをかける。
混戦が繰り広げられる中、周回を重ねていくも、レースも終盤を迎えた 38 周目の最終コーナーで田中勝輝がまさかのコースオフ。
グラベルに埋まってしまった DIJON Racing GT-R48 号車は、ここでレースを終えることとなってしまった。
規定周回数を上回っていたため、25 位で完走扱いとはなったが、最終戦のチェッカーフラッグを受けることができず、DIJON Racing GT-R48 号車の最終戦、そして 2015 年シリーズがここで終了した。

今回の MOTEGI GT 250KM RACE をもって、DIJON Racing の 2015 年 SUPER GT シリーズは終了致しました。
大量ポイント獲得こそ果たすことが出来ませんでしたが、各レースにおいて、随所でドライバーやチームのポテンシャルをお見せできたかと思います。
皆様の暖かいご声援、ご支援に深く御礼を申し上げます。そして来シーズンも引き続き、宜しくお願い致します。

DIJON Racing
inoki
MATSUNAGA GROUP
k Dental office
ENDLESS
Cure Album Planet
IBRIDA CELL
NILZZ Racing Factory
POWER STATION
アーツ銀座クリニック
KTEL
PINS FACTORY
NISSAN nismo NISSAN GT-R NISMO GT3 Customer Racing
CKK
TAKATA
ヒョウゴベンダ
YOKOHAMA
RAYS